

平成 30 年 1 月 22 日

南九州大学  
学長 寺原 典彦 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 浦野 徹

対象機関：南九州大学  
申請年月日：平成 29 年 7 月 27 日  
訪問調査年月日：平成 29 年 11 月 28 日  
調査員：佐加良 英治（兵庫医科大学）

#### 検証の総評

南九州大学は宮崎県内の宮崎と都城の 2 キャンパスに、環境園芸学部、健康栄養学部、人間発達学部、教養・教職センター、ならびに大学院園芸学・食品科学研究科を有する創立 50 周年を迎えた総合私立大学である。動物実験は宮崎キャンパスの健康栄養学部、都城キャンパスの教養・教職センターにおいて主に教員の研究として行われている。実験動物の飼養保管施設は齧歯類用として小規模ながら整備された「健康栄養学部動物実験施設」が設置されている。また、都城キャンパスにおいては、主として両生類の飼養保管が行われている。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、基本指針とする）」に則し、機関内規程の制定、動物実験委員会の設置が行われている。特に、動物実験計画が、動物実験委員会審査を経て、弁護士、新聞記者や医師等の学外有識者を委員として含む倫理委員会において、倫理的、法的、社会的観点からも審査されている点は高く評価できる。動物実験の実施状況は、基本指針ならびに、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下、飼養保管基準とする）」に則って体制等は整備されているものの、ここ数年実施されていない。しかしながら、今後新たに着任する可能性のあ

る動物実験実施者のために、適正な動物実験の実施体制、実験動物の飼養保管体制を確立するため、今回、外部検証を申請している。

他方、動物実験の実施体制、情報公開項目に関しては、公私立大学実験動物施設協議会（以下、公私動協とする）や外部の有識者の協力のもと、速やかな改善を期待する。総合的にみて、動物実験、ならびに飼養保管が適正に実施されるよう努力されている点は評価できる。今後も、公私動協や外部の有識者の協力のもと、適正な動物実験の実施体制並びに実験動物の飼養保管体制を維持されたい。